

コース名：ファイルの操作（OS）

ーパーソナルコンピュータ・基本の基本ー

（大作 勝）

対 象：教員一般、入門段階、多少の経験は必要である

目 標：コンピュータに関し万年初心者を卒業して、自分のパソコンは自分自身で管理できるようになる

研修時間：1日

研修内容（研修方法）：

導入（講義1コマ）

- ・ ファイルとは
- ・ フォルダとは
- ・ 文字コードとは
- ・ パスとは

利用形態（実習2コマ）

- ・ ファイルの操作
- ・ 正しいマウスの使い方
- ・ ファイルとフォルダ
- ・ 簡単なファイル操作
- ・ いじると危ないフォルダとファイル
- ・ ファイルの保存
- ・ ファイルのアクセス権
- ・ セキュリティに関すること
- ・ 正しいアンインストール

利用計画の立案（討論1コマ）

- ・ 電子メールを正しく使える
- ・ ファイルをきちんと整理できる

研修評価の観点：

- ・ 通信の過程でファイルの性質の重要性が理解されたか
- ・ コンピュータの中でOSの果たしている役割が理解されたか

ラショナル：

今日パーソナルコンピュータはメディアの中心である。コンピュータなしには、研究活動も教育もできないようになってしまった。しかしながら大学の中には、いつまでたっても自立できない万年初心者？があふれている。わたし自身も小さなトラブルを解決するため、周りの人にたびたび迷惑をかけてきた。コンピュータは人に優しい？ウィンドウタイプが主流になって、もはや誰でも使えるということにはなった。しかしながらただ文章が打てる、メールが打てるというのと、分かっているというのは別物である。ハードはひとまずほおっておいても、ソフトの基本は、基本ソフト（OS）である。基本ソフトが理解できれば、小さなトラブルには対

処できるはずである。基本ソフトの基本はファイルの扱いである。正しくファイルが扱えれば、もう初心者は卒業だ。

コンピュータは今通信の道具になった。コンピュータを使っているんなことがしたい。

例えば、

- 1) 大学内で数人による共同研究がしたい、
- 2) 小さな委員会をコンピュータ上で開きたい、
- 3) 大学内をペーパーレスにしたい、
- 4) メールの山を何とかしたい、
- 5) 論文の山、雑誌の山を整理したい、などということがある。

これらは全てファイル操作に関係している。ウインドウズになって、OSはほとんど勉強しなくてもいいものと勘違いされている。もっともOSは知らなくともソフトは使える（と信じている人が多い）。OSはコンピュータの基本の基本である。車の運転ならハンドル操作のようなものである。全くおもしろくない。したがってまじめに取り組まない。その結果万年初心者にとどまるのである。本研修ではコンピュータについても最も基本から勉強する・遠回りすることが、最も近道であることを学ぶ。

備 考：

ワークショップの形態になるので、人数は20名以内とする。材料として、フロッピーディスク1枚程度にはいる、数種類からなるファイルを数十個用意する。
